



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	28,074	△10.1	868	△52.0	980	△50.2	514	△53.1
2020年3月期第3四半期	31,229	△3.7	1,807	△26.3	1,968	△25.4	1,095	△30.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,314百万円(83.1%) 2020年3月期第3四半期 1,264百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	15.71	—
2020年3月期第3四半期	32.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	59,138	44,992	72.9
2020年3月期	58,653	44,780	72.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,113百万円 2020年3月期 42,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当2円 記念配当4円

2021年3月期配当金(予想)につきましては、2020年5月13日に「2020年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	△10.1	1,800	△48.1	1,850	△48.3	1,100	△46.8	33.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	34,536,635株	2020年3月期	34,536,635株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,017,212株	2020年3月期	657,114株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	32,723,736株	2020年3期3Q	33,872,174株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大に伴う第1四半期連結会計期間における大幅な経済活動の落ち込みからの回復の動きが見られました。しかしながら、新規感染者が再び増加していることなどから、緩やかな回復基調に留まっており、依然として下振れリスクを含んでいる状況にあります。海外では、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は、国・地域ごとにばらつきがあり、引き続き先行き不透明な状況にあります。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っております。2020年12月10日に、新研究開発拠点「ナレッジスクエア」をグランドオープンしました。多種多様な人々や情報が集い、新しい価値を共に創り出す「共創」の場として活用してまいります。国内では、引き続き警戒の必要な自然災害への対策や、新たな社会・生活様式に対応した働き方改革などの社会情勢に沿った価値の提供を展開しております。具体的には“密”回避を目的に、AIカメラを活用したプライバシー保護を可能とする「混雑状況配信ソリューション」の提供を開始いたしました。また、世界5地域でのマーケティング活動の効率を高め、お客さまとのつながりをより一層強めることを目的に、新たなシステム基盤を導入・稼働し、それぞれの市場環境に応じてユーザーの満足度をより高いレベルで実現させる取り組みを進めてまいりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた環境下においても、多様な働き方やデジタルツール等を活用し、継続した事業活動とその効率化を推進しております。

しかしながら、世界的な経済活動の停滞の影響を受け、当第3四半期連結累計期間における売上高は28,074百万円(前年同四半期比△3,154百万円、10.1%減)となりました。利益については、販売費及び一般管理費は減少しましたが、営業利益は868百万円(前年同四半期比△939百万円、52.0%減)、経常利益は980百万円(前年同四半期比△988百万円、50.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は514百万円(前年同四半期比△581百万円、53.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は18,703百万円(前年同四半期比△907百万円、4.6%減)、セグメント利益(営業利益)は3,714百万円(前年同四半期比△268百万円、6.7%減)となりました。

減災・防災市場向けの販売が伸長し、工場市場向けの販売も堅調に推移しました。また、鉄道車両向けの出荷も増加しましたが、経済活動の停滞の影響などにより販売が低迷し、セグメント全体では売上高は減少しました。販売費及び一般管理費の減少はありましたが、減収によりセグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は4,225百万円(前年同四半期比△1,231百万円、22.6%減)、セグメント利益(営業利益)は685百万円(前年同四半期比△310百万円、31.2%減)となりました。

ベトナムでは官公庁向け大型案件の納入が進むなど、販売は伸長しました。インドネシアでは宗教施設向けの大型案件の納入はありましたが、経済活動の停滞の影響により、売上高は減少しました。タイでの販売も低迷し、セグメント全体での売上高は減少しました。販売費及び一般管理費の減少はありましたが、減収によりセグメント利益は減少しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は2,836百万円(前年同四半期比△481百万円、14.5%減)、セグメント利益(営業利益)は183百万円(前年同四半期比△256百万円、58.3%減)となりました。

欧州全体での経済活動の停滞の影響により、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は1,232百万円(前年同四半期比△339百万円、21.6%減)、セグメント利益(営業利益)は26百万円(前年同四半期比△61百万円、69.6%減)となりました。

アメリカでは、官公庁向け案件の納入が進みましたが、小売店向けの音響機器の販売が伸び悩み、売上高は減少しました。販売費及び一般管理費の減少はありましたが、減収によりセグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,076百万円(前年同四半期比△195百万円、15.3%減)、セグメント利益(営業利益)は91百万円(前年同四半期比△84百万円、48.0%減)となりました。

香港や台湾では複数の大型案件の納入が進み、販売は伸長しましたが、中国での販売が伸び悩み、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は59,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ485百万円の増加となりました。資産の部は、売上債権の減少などありましたが、投資有価証券の評価替えなどにより増加しました。負債及び純資産の部は、仕入債務の減少や自己株式の取得はありましたが、その他有価証券評価差額金の増加などにより増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、「2020年3月期決算短信」にて公表しております当初予想を修正しております。詳細は、本日(2021年2月2日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,610	16,108
受取手形及び売掛金	10,312	7,845
有価証券	1,200	—
商品及び製品	6,845	6,712
仕掛品	1,045	815
原材料及び貯蔵品	3,065	3,662
その他	880	1,175
貸倒引当金	△75	△44
流動資産合計	38,885	36,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,237	6,580
その他	4,342	4,312
有形固定資産合計	10,579	10,892
無形固定資産		
1,599	1,599	1,397
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163	9,223
その他	1,426	1,349
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,589	10,572
固定資産合計	19,768	22,862
資産合計	58,653	59,138

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409	2,807
短期借入金	1,915	1,996
未払法人税等	332	64
引当金	176	143
その他	3,348	3,594
流動負債合計	9,183	8,606
固定負債		
退職給付に係る負債	2,841	2,767
その他	1,848	2,772
固定負債合計	4,689	5,539
負債合計	13,872	14,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,058	5,061
利益剰余金	30,236	29,737
自己株式	△385	△1,370
株主資本合計	40,189	38,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,682	5,815
為替換算調整勘定	△1,009	△1,307
退職給付に係る調整累計額	△104	△101
その他の包括利益累計額合計	2,567	4,405
非支配株主持分	2,024	1,878
純資産合計	44,780	44,992
負債純資産合計	58,653	59,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	31,229	28,074
売上原価	17,272	16,078
売上総利益	13,956	11,996
販売費及び一般管理費	12,148	11,127
営業利益	1,807	868
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	95	99
為替差益	5	—
持分法による投資利益	—	2
助成金収入	—	113
その他	89	86
営業外収益合計	219	319
営業外費用		
支払利息	50	51
為替差損	—	142
その他	8	13
営業外費用合計	58	207
経常利益	1,968	980
特別損失		
解体撤去費用	48	11
特別損失合計	48	11
税金等調整前四半期純利益	1,919	969
法人税等	562	372
四半期純利益	1,357	596
非支配株主に帰属する四半期純利益	261	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,095	514

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,357	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	510	2,133
為替換算調整勘定	△616	△420
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
退職給付に係る調整額	13	5
その他の包括利益合計	△93	1,718
四半期包括利益	1,264	2,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,093	2,352
非支配株主に係る四半期包括利益	171	△37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月13日開催の取締役会に基づき、自己株式1,390,000株の取得を行いました。この取得などにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が984百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,370百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,611	5,456	3,317	1,571	1,271	31,229	—	31,229
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,988	84	11	7	26	3,118	△3,118	—
計	22,600	5,541	3,329	1,578	1,298	34,347	△3,118	31,229
セグメント利益	3,982	995	439	88	175	5,681	△3,874	1,807

(注)1. セグメント利益の調整額△3,874百万円には、セグメント間取引消去44百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,918百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,703	4,225	2,836	1,232	1,076	28,074	—	28,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,972	51	8	4	17	2,054	△2,054	—
計	20,676	4,277	2,844	1,236	1,094	30,128	△2,054	28,074
セグメント利益	3,714	685	183	26	91	4,700	△3,832	868

(注)1. セグメント利益の調整額△3,832百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,834百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。